

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

資料 4

令和3年1月22日

協議会名： 米沢市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・公共交通の現状整理 ・実態・ニーズ把握調査 ・公共交通を取り巻く課題の整理 ・協議会開催 【結果概要】 ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の現状を整理した。 ・各種アンケート・ヒアリング等により、住民や利用者の移動実態・移動需要を把握することができた。 ・協議会・分科会の開催により、関係団体・市民・学生等が一体となって公共交通に関する検討を進めることができた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。	ここまでの調査結果から、主に次の課題が浮上。 ・公共交通の維持・確保のためのネットワーク効率化と利用促進 ・市街地におけるバス路線の適正化、利便性の向上 ・郊外部から市街地への持続可能なアクセス手段の確保 ・公共交通を分かりやすく、利用しやすくするための改善 今後はこれら課題(案)をベースに、令和2年度中に現状と課題を整理し、令和3年度中に計画としてとりまとめる。

地域の概要

1. 基礎データ

米沢市

人口: 78,965人

(R3.1.1現在・住民基本台帳)

面積: 548.51平方キロメートル

過疎地域等指定:

山村(旧万世村、山上村、南原村、三沢村)

特別豪雪(市全域)

高齢化率: 32.0%

交通会議開催数: 3回(8月(書面)、1月・2月(書面見込))

2. 公共交通の概況

【鉄道】

運 行: 東日本旅客鉄道(株)

路 線: 在来線2路線、山形新幹線

【乗合バス】

①路線バス

運 行: 山交バス(株)

路 線: 5路線

②コミュニティバス

運 行: 米沢市、山交バス(株)

路 線: 4路線(うち自家用有償旅客運送が3路線)

【乗合タクシー】

運 行: 米沢地区ハイヤー協議会(5事業者で構成)

エリア: 3地域

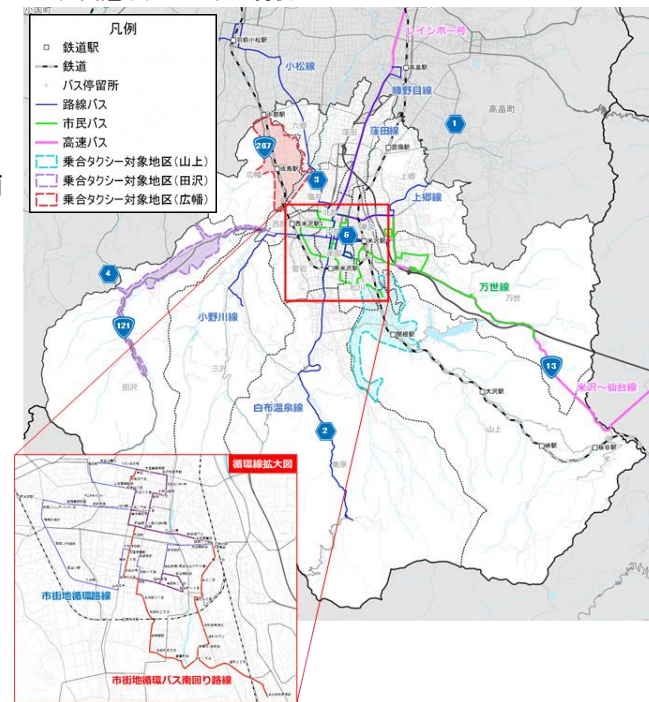
路線バス利用者が減少する中、地域住民の移動手段を確保するため、バス事業者の運行支援のほか、コミュニティバスや乗合タクシーを運行している。

高齢化の進展により公共交通に対するニーズは高まっており、地域公共交通を取り巻く環境の変化に対応するためには、持続可能な公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

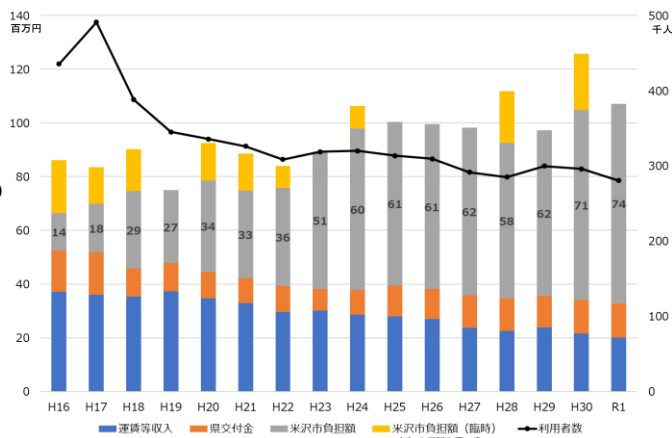
3. 公共交通の問題点

- (1)人口減少、少子高齢化の進展による影響もあり、公共交通の利用者数が低迷している。
- (2)運行欠損の増加によりバス路線維持のための財政負担は年々増加しているほか、国庫補助路線がないため維持に向けたリソースが不足しており、将来的に持続していくことが困難となる。
- (3)周辺地域の公共交通は、米沢駅から放射状に整備されている路線バス、市街地とを結ぶ循環バス、乗合タクシーなど様々な形態で運行しており、公共交通軸や地域の拠点が明確になっておらず非効率的である。
- (4)交通結節点となっている米沢駅では、バスの運行情報や案内表示が乱立したり統一感がないなどわかりづらく、誰もが使いやすい環境になっていない。
- (5)令和5年度までに総合病院である市立病院の建替と三友堂病院の移転を予定しており、運行経路の見直しが必要となっている。
- (6)循環バスは地域住民のほか観光客など多くの来訪者にも利用されているが、1周あたりの運行距離・時間が長く、特に冬期間は遅延が高頻度で発生している。
- (7)住民等の移動実態(需要)や移動手段の実態(供給)を把握できておらず、米沢市の公共交通に係る課題を十分に整理できていない。

＜公共交通ネットワークの現状＞



＜公共交通利用者数と市財政負担額推移＞



米沢市地域公共交通活性化協議会

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

- 公共交通の現状整理
 - (1) 地域特性の整理
 - (2) 公共交通の実態把握
- 実態・ニーズ把握調査
 - (1) 既存資料・データの収集・整理・分析
 - (2) バス利用実態調査
 - (3) 主要拠点ヒアリング調査
 - (4) 交通事業者ヒアリング調査
 - (5) 市民アンケート調査
 - (6) 高校生アンケート調査
 - (7) 民生委員等アンケート調査
- 協議会開催(協議会3回、分科会4回)

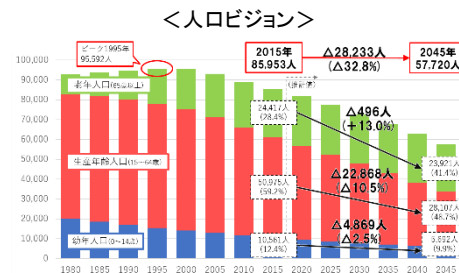
【今後予定している内容】

- 公共交通の現状整理
 - (3) 新モビリティの事例調査
- 実態・ニーズ把握調査
 - (8) 施設・団体等調査(1月下旬～)
 - (9) 庁内ヒアリング調査(1月下旬～)
- 公共交通を取り巻く課題の整理
- 協議会開催(協議会1回、分科会1回)

調査結果概要

1. (1) 地域特性の整理

- 平成7年以降人口減少が続いている。人口分布は市街地に集中し、郊外部の高齢化率が高い。
- 昼間人口が夜間人口を上回る。市民の通勤・通学は9割が市内移動で、通勤時の移動手段は8割以上が自家用車。



2. (2) バス利用実態調査

- 上杉神社やイオン米沢店を目的とした利用が多い。
- 市街地内のバス利用が大多数。

2. (3) 主要拠点ヒアリング調査

- 米沢駅の改札口カウントでは、高校生の朝夕の人数に差があり、通学手段が登下校で異なる可能性がある。

2. (5) 市民アンケート調査

- 日常生活で路線バスを利用する市民は1割に満たない。

4. 協議会開催(分科会によるワークショップ等3回)

- 協議会の下部組織として分科会を立ち上げ、ワークショップやフィールドワーク等を実施しながら、利用者目線で公共交通の現状を把握し、問題点や課題を明らかにしていった。
- 米沢駅周辺の案内、バス停の時刻表等の表記など、利用しやすさ・分かりやすさに関する改善点が多く見られた。

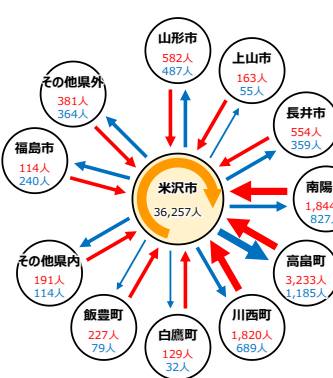
＜時刻表の文字が小さい＞



＜情報が多すぎてわかりにくい＞



＜通勤流動＞



＜フィールドワークのようす＞



＜ワークショップのようす＞



＜課題(案)＞

- 人口減少社会やまちづくりの視点から公共交通の維持・活性化が必要
- 公共交通の維持・確保が将来的にさらに困難になることが予想され、ネットワーク効率化と利用促進が必要
- 市街地におけるバス路線の適正化、利便性の向上が必要
- 郊外部から市街地への適切かつ持続可能なアクセス手段の確保が必要
- 広域的な移動手段の維持が必要
- 公共交通を分かりやすく、利用しやすくするための改善が必要

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ○3月 R2第4回協議会開催(課題整理) | ○9月 R3第2回協議会開催(素案①) |
| ○4月以降～ 必要に応じ追加調査 | ○12月 R3第3回協議会開催(素案②) |
| ○6月 R3第1回協議会開催(骨子) | ○R4.3月 R3第4回協議会開催(パブコメ結果) |
| | ○3月下旬 地域公共交通計画の決定 |

【今後の動き】

令和2年度中に米沢市の現状と課題を整理するとともに、施策展開の方向性を検討する。令和3年度からは必要に応じ追加調査を実施しながら、基本方針・目標・施策案・目標値等の検討を行い、令和3年度内に地域公共交通計画として取りまとめる。令和4年度からは計画に基づく事業に着手する。